

OKURA

経営ビジョン Next10 (2030)

2022年2月24日



大倉工業株式会社

1. 理念体系・経営ビジョン
2. 事業ポートフォリオ
3. 経営指標
4. サステナビリティ推進

1. 理念体系・経営ビジョン



1. 理念体系・経営ビジョン

経営ビジョン「Next10 (2030)」

[注力する領域]

人々の安心で快適な生活を支える事業

食・アグリ、住空間、生活用品、ヘルスケア、医療

環境・エネルギー負荷を軽減する事業

サステナブル材料、減量化、リサイクル、省エネ

情報通信に関する事業

高速通信、フレキシブルデバイス、モビリティ

Next10 (2030)
「 次の10年に向けた「ありたい姿」
「 **要素技術を通じて、
新たな価値を創造し、
お客様から選ばれる
ソリューションパートナー** 」

お客様の価値向上と
社会課題の解決に貢献し、
事業を通じて、
社会・環境価値を
創出する

社会から
信頼される企業

技術優位な
企業集団

創立75周年

2018

2021

2024

2027

2030

STAGE1

STAGE2

STAGE3

STAGE4

【土台作り&基盤強化】

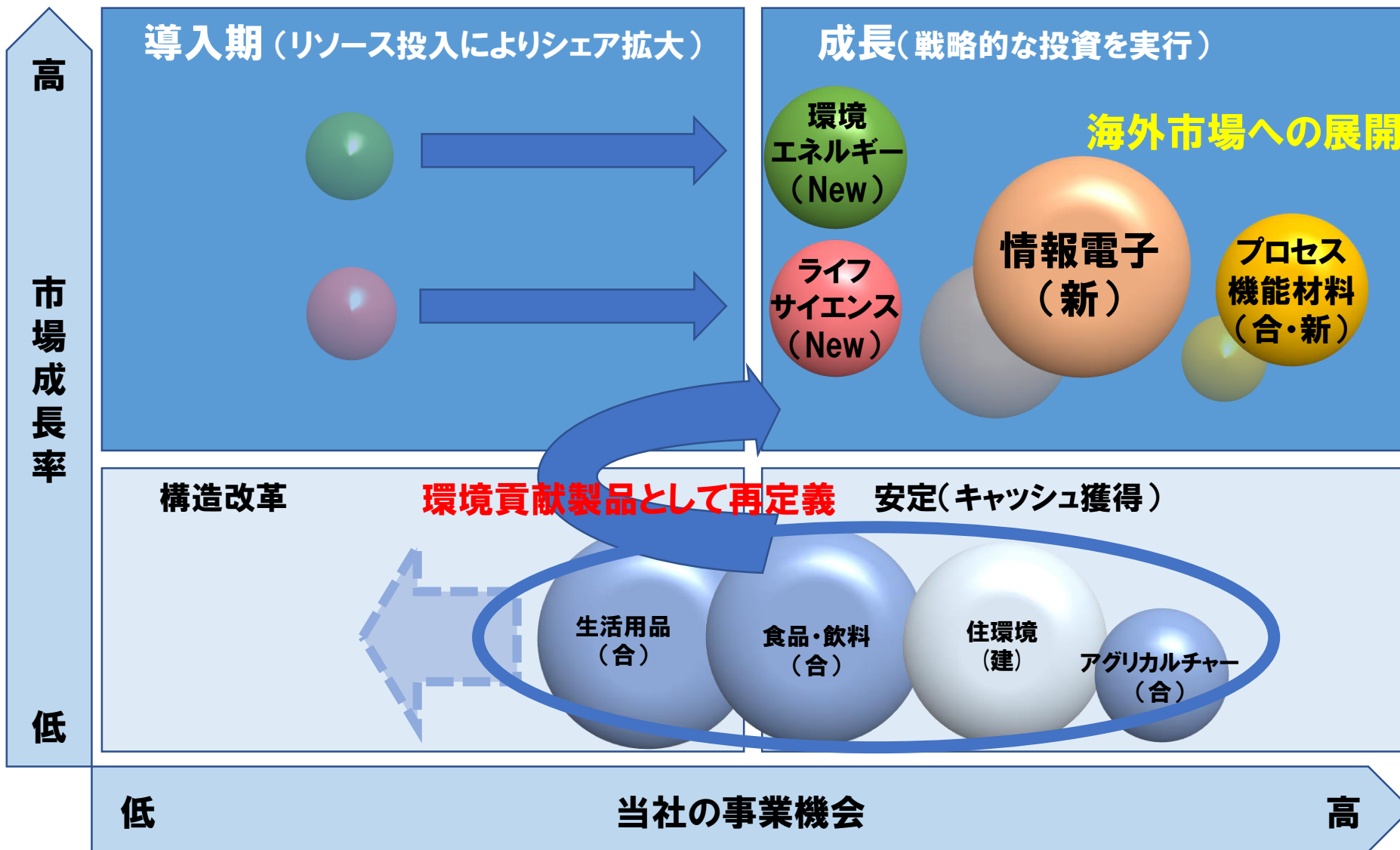
【事業領域拡大】

【経営ビジョン実現】

注力領域における当社の強み

	合成	新規	建材	強み
<p>生活サポート 人々の安心で快適な生活を支える事業</p> <p>ライフサイエンス 食品・飲料 住環境 生活用品 アグリカルチャー</p>	●	●	●	多種多様な分野での顧客とのネットワーク
<p>情報電子 情報通信に関する事業</p> <p>情報電子</p>		●		光学フィルム加工メーカーのフロントランナー
<p>プロセス機能材料 製品製造に役立つ部材で貢献する事業</p> <p>プロセス機能材料</p>	●	●		商品開発力・成型技術のノウハウ蓄積
<p>環境・エネルギー 環境・エネルギー負荷を軽減する事業</p> <p>環境エネルギー</p>	●	●	●	ユーザー・商社・流通とシステム連携

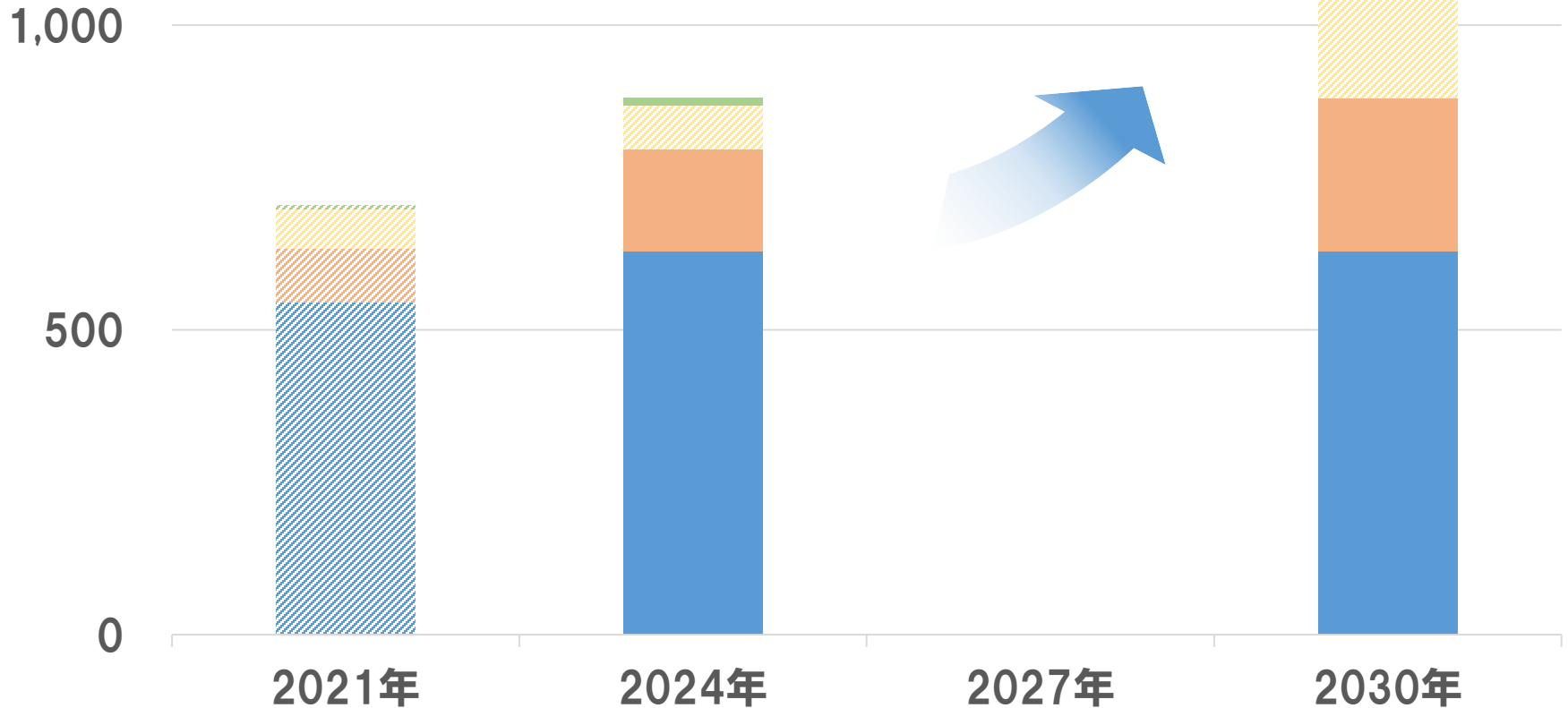
事業ポートフォリオの深化



売上高【注力分野別】

売上高 1,200億円
営業利益 100億円

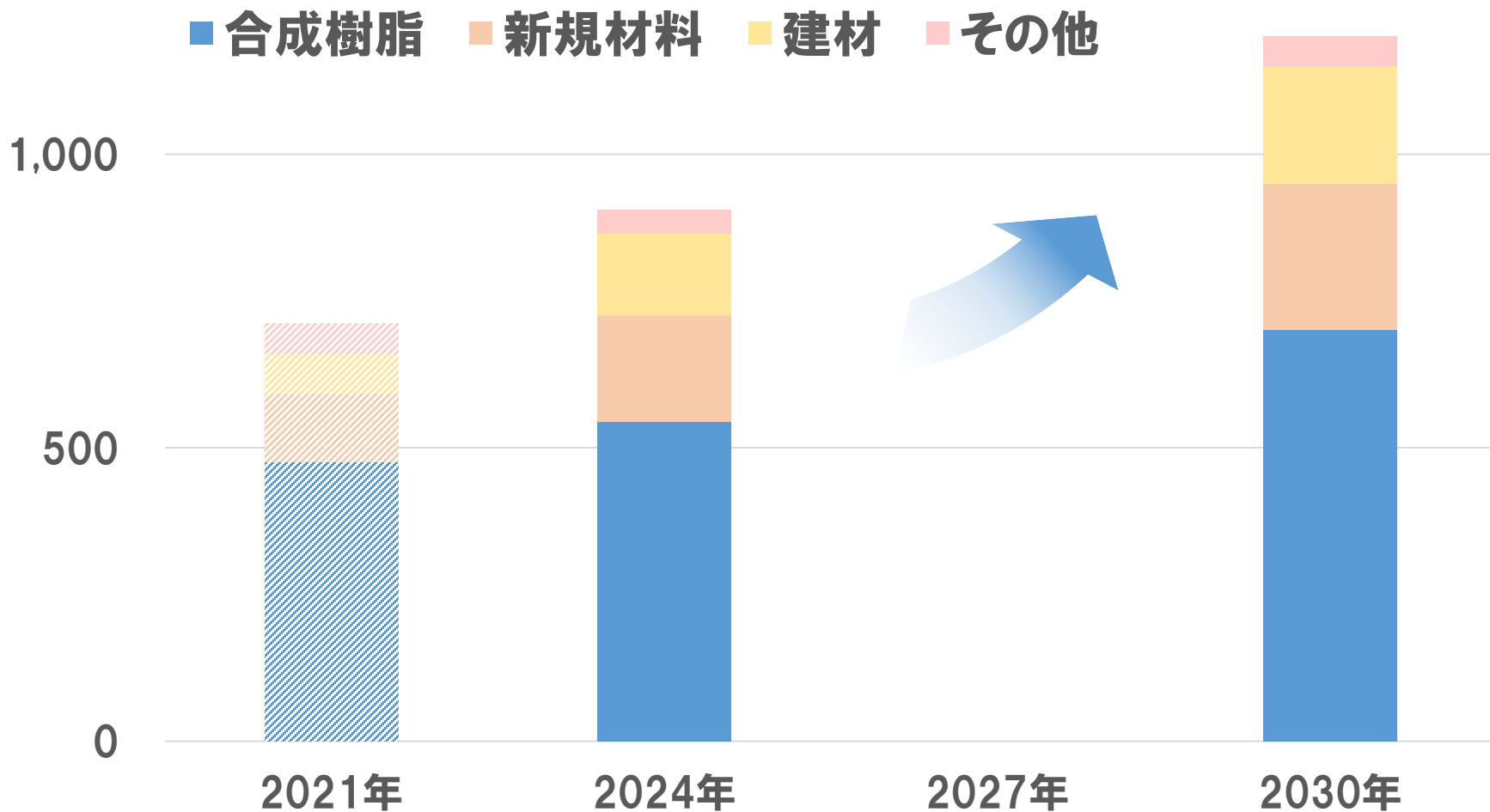
- 生活サポート
- 情報電子
- プロセス機能材料
- 環境・エネルギー



※収益認識に関する会計基準を適用した場合の売上高:712億円(2021年)

売上高【事業セグメント別】

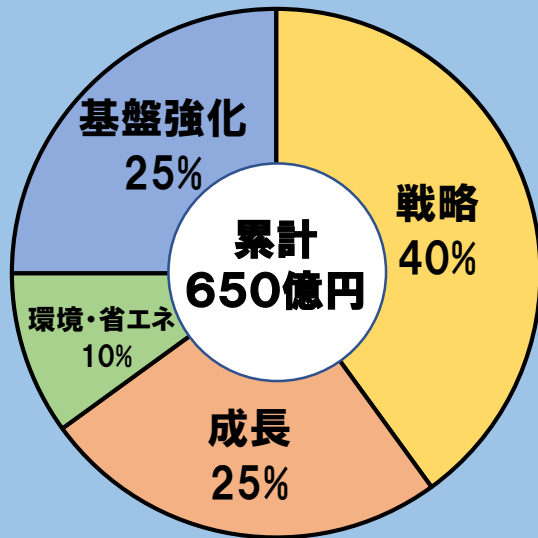
売上高	1,200億円
営業利益	100億円



※収益認識に関する会計基準を適用した場合の売上高:712億円(2021年)

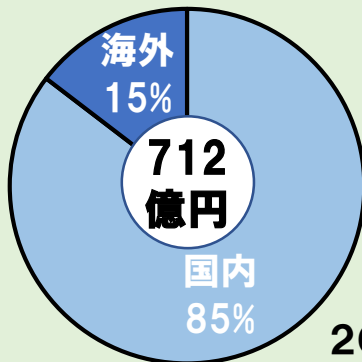
設備投資など

ポートフォリオの深化に向けた積極的な投資

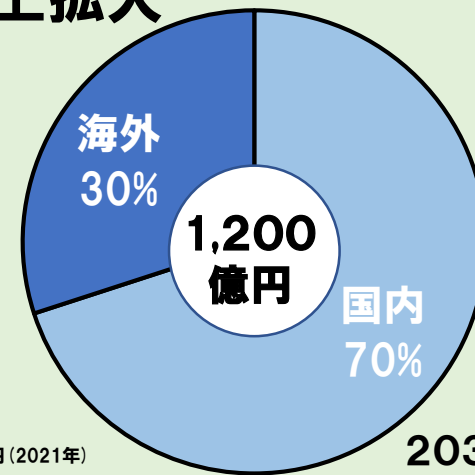


戦略投資 (M&A含む) 260億円
 □ 高機能フィルム開発投資
 □ 海外・M&A投資
 □ 経営基盤強化投資 (DX、人財投資など)
環境 省エネ投資 65億円

プロセス機能材料・情報電子分野の海外向け売上拡大



- ◆ 世界へキーパーツを発信
- ◆ 地産地消の海外拠点拡充



2021年 ※収益認識に関する会計基準を適用した場合の売上高:712億円(2021年)

2030年

理念体系【サステナビリティ】



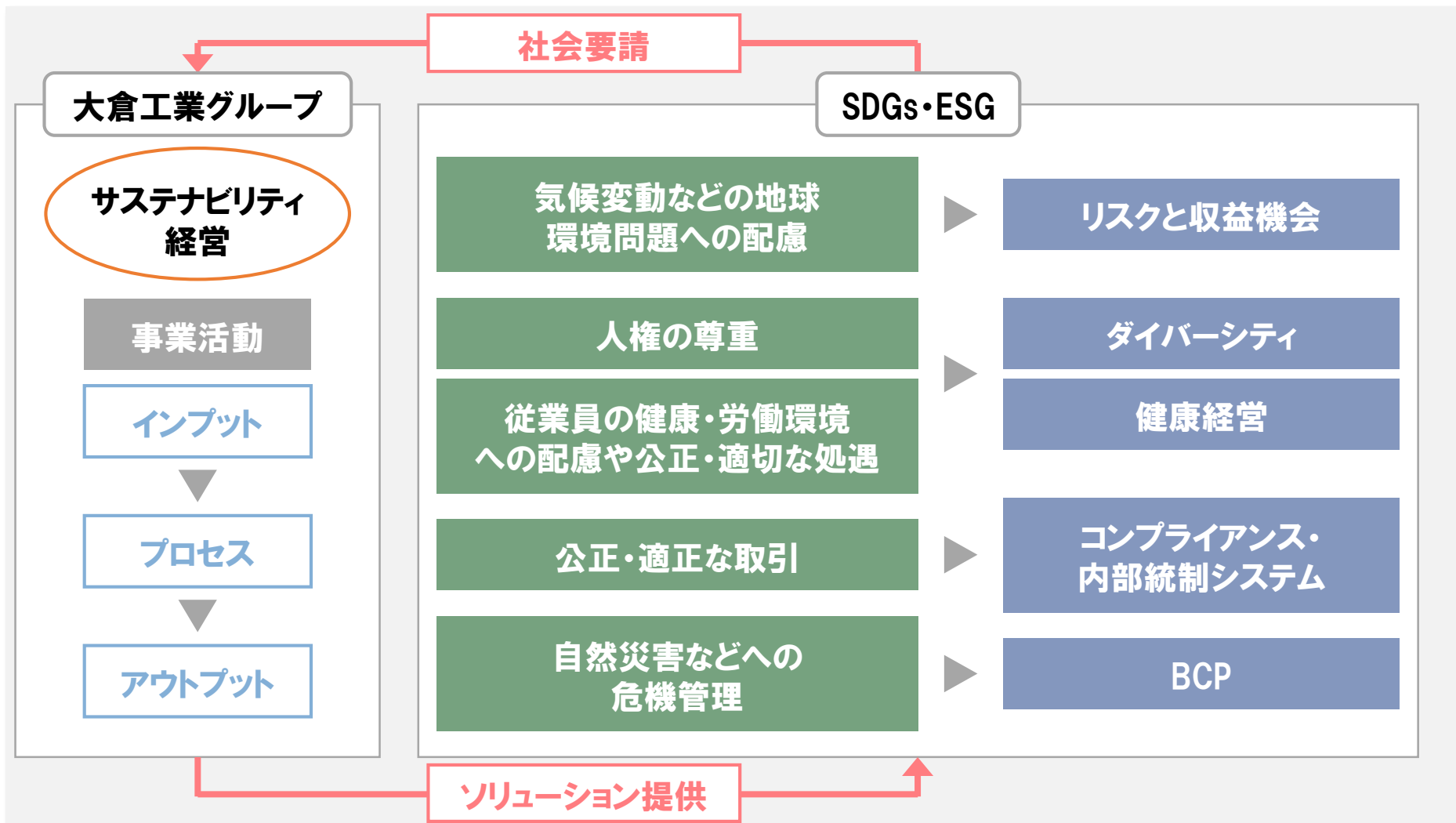
サステナビリティ基本方針

「社会から信頼される企業」であり続けるために、事業を通じて、社会との共生を念頭に企業の成長を目指す

サステナビリティ基本原則

1. 事業とESGの両立
2. 地球環境の保全
3. 法令順守・人権尊重と労働環境の配慮
4. 情報開示と対話

大倉工業グループのサステナビリティへの取り組み



4. サステナビリティ推進 マテリアリティ



脱炭素経営（気候変動対策）の推進

- 自社（工場及びオフィス）からのCO2排出量削減
- 物流（出荷）の効率化とCO2排出量削減



環境貢献製品の創出と拡大

- 環境貢献製品創出の仕組み化と中長期目標設定
- 機能性に優れた製品の開発及び販売



DX推進による競争優位性の確保

- 新しいデジタル技術の導入による生産性向上と業務改革
- 営業活動及びマーケティングの高度化
- より高品質で安全性の高い製品の追求



資源循環対策の更なる推進

- 工場廃棄物の大幅削減
- 海洋プラスチックの削減
使用後の廃資材等の回収、再資源化の促進



CSR調達の推進

- 人権等に配慮した原材料調達の仕組み構築と運用
- 環境に配慮した原材料調達（グリーン調達）の仕組み構築と運用



イノベーション創出に向けた研究開発

- 新規事業の創出につながるマーケティングの強化
- オープンイノベーションの積極的な活用



事業継続のための基盤

企業の信頼性・透明性の向上

- ESG情報の積極的な開示
- ステークホルダーとの対話促進
- 内部統制・コンプライアンス体制の整備
- リスクの洗い出しとBCP（事業継続計画）のブラッシュアップ



汚染防止の徹底

- 有害化学物質の適切な管理
- 水資源の使用量削減と適切な管理



地域社会との共生

- 社会奉仕活動、地域環境保護活動の推進
- 地域課題解決ビジネス、地域活性化ビジネスへの参画
- 地域資源の積極的な利用



働きがいのある職場環境の整備

- ダイバーシティ経営の実現
- 働き方改革による生産性向上とワークライフバランスの実現
- やりがいのある人事評価制度構築と人財育成制度の充実
- 労働安全衛生の強化



4. サステナビリティ推進 ESGへの取り組み



Environment : 環境



脱炭素経営(気候変動対策)の推進

- 省エネ設備、太陽光発電の導入
- CO₂フリー電力の調達、
新たなスキームによる再生可能エネルギーの利用



資源循環対策の更なる推進

- 市場からの廃プラ回収システムの構築
廃プラ回収の推進

環境貢献製品の創出と拡大

- 製品資源の減容化、
生産プロセスのエネルギー効率化
- 環境や社会の問題解決に寄与する
新たな製品の開発

(代表例)



エコクラブ



無溶剤型
アクリル系接着剤



オークラボード



「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)」
提言に沿った積極的な情報開示

2030

CO₂排出量:50%以上削減

市場から回収した廃プラの再生利用:30,000t 以上

生活サポート群環境貢献製品売上高比率:100%

Social : 社会



働きがいのある職場環境の整備

- 女性活躍職場の推進
- 人事評価制度の再構築
- 健康経営の推進

地域社会との共生

- 社会奉仕活動の拡大
- 地域文化/スポーツイベントへの参画



DX推進による競争優位性の確保

- 品質管理強化と生産性向上

2030

ダイバーシティ経営の実現

積極的に地域社会活動・イベントへ参加する
文化の構築

新しい顧客価値の創出
ビジネスモデルの転換

Governance : ガバナンス



企業の信頼性・透明性の向上

- 「コーポレートガバナンスの強化」
- 取締役会等の多様化と実効性の開示
- 内部統制・コンプライアンス体制の整備

「リスクマネジメントの強化」

- BCP(大規模な自然災害対応)のブラッシュアップ
- 情報セキュリティの強化

2030

経営意思決定の透明性向上・迅速化

ステークホルダーと対話の推進

本資料に関する注意事項

本資料に掲載されている業績予想・事業計画は、当社が現時点で入手可能な情報及び種々の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等の結果は、今後生ずる様々な要因によって、予想・計画とは異なる場合がございます。

本資料は、情報提供のみを目的としたものであり、当社が発行する有価証券の売買を勧誘することを目的としたものではありません。

OKURA

経営ビジョン Next10 (2030)

2022年2月24日



大倉工業株式会社

END